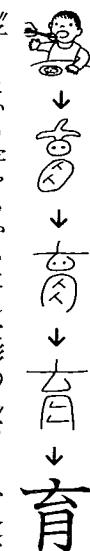


育

三年
画数 8
筆順 一 フ ク
音 オン イク
成り立ち クン そだつ てる

三年

△わたしは、犬のシロをかわいがっています。シロが子犬だった時から、ずっと育てているので、かわいいのです。



「子」という字をさかさにした形の「去」と、食べる

肉をあらわした「月」とを組み合わせて作った字です。

「子」をさかさにしたのは、「生まれてくる子ども」をあらわしたものです。子どもは頭から先に生まれてくる

からです。

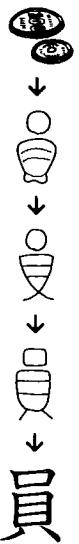
「生まれてきた子に食べものをあたえて『そだてる』こと」をあらわした字です。

「子を『そだてる』こと」→「子が『そだつ』こと」

「育の音のイクは、肉の音のN音が脱落したものである。」

貞

三年
画数 10
筆順 口 冂 冂 冂
音 オン イン
成り立ち クン



まるい形をあらわした「口」と、お金のいみの「貝」とを組み合わせて作った字で、「まるい形をしたお金」のことをあらわした字です。

「円いお金」のいみから、「円い」といういみにつかわれるようになりますが、「円い」という字は、員にもう一つ「口」をくわえて「圓」という字を作つてくべつしました。今の「円」は「圓」の略字です。

それで、員は「お金」といういみにつかわれていますが、お金の「がく（金高）」を「金員」といましたので、それは「お金の数」をいみしているために、員に「数」なりました。そのため、こんどは、「会員」というように「人」のいみにもつかわれるようになりました。

使い方

- ▽三年生全員で、近くの山にハイキングに行きました。先生が「班長が人員点呼をするんだよ」と大きな声でいました。田代君が、ぼくたちの班の班長なので、人員点呼をしました。全員そろつていたので、出発しました。
- ▽五人一组でやるゲームがあります。でも、わたしたちの仲間は全部で六人でした。「一人は員数外になるね、どうしようか」と話し合つて、こうたいて遊ぶことにしました。
- ▽愛育（愛し育てること。かわいがつて、だいじに育てること。）
- ▽教育（教え育てる）。【例】「子どもを教育することは、大へん大せつな仕事です」などというふうに、つかいます。）
- ▽育児（子供を育てる）。【例】「青少年の育成は、国々の育成にかかわるだいじなもんだいだ」などといふうに、つかいます。）

語例

- ▽人員（人の数。「人員点呼」といえば、何人いるかということを確かめることです。）
- ▽会員（その会に入っている人。「ぼくは、『学校をきれいにする会』の会員です」などと、つかいます。）
- ▽員数（ものの数。とくに、ある、きまつた数のことをいいます。「員数外」といえば、きめられた数に外れている、という意味になります。）
- ▽教員（教える人、つまり「先生」のことです。先生が自分のことを言う時には「教員」といいます。）